

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|-------------------------------------|---|--|-----------------------------------|---|--|-------------------------|---|-------------|---|
| 1 家庭・ 地域に おける 食育の 推進 | (1) 楽しく 食べる ことの 推進・ 望まし い食習 慣と知 識の習 得 | 1 | 一人ひとりにと って望ましい食 事の 理解の推進 | 健康教育やイベント、食生活改善推進員の地区組 織活動等において、食事バランスガイド等を用い、 市民にバランスの良い食事をするための大切さを広 めます。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | 健康教育、食生活改善推進員の地区伝達活動講習会など様々な場 面で、対象者に合わせ、食事バランスガイド(厚生労働省と農林水産 省策定)等を利用して、普及啓発を実施 | b | 健康教育、地区伝達活動講習会などで、対象者に合わせ、食事バ ランスガイド(厚生労働省と農林水産省策定)等を利用して、普及 啓発を実施する。 |
| | | 2 | 食を通じた コミュニケーシ ョンの推進 | 家族・仲間が食卓を囲み食事をする(共食)の大 切さを広めます。また、家庭において簡単にできる 料理や、外食や中食の正しい選択の方法等を普及 啓発します。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | 子どもから高齢者まで、手軽に調理ができるように「電子レンジクッキ ング」のリーフレットを各種教室等で紹介した。また、電子レンジや、フ リージングなどを活用した簡単クッキングを開催した。 | b | 各種教室等で、電子レンジやフリージングの活用等を使って、簡単 に食事のバランスを整えるための方法を普及する。 |
| | | 3 | 朝ごはんをとるこ との普及啓発 | 朝ごはんレシピを配布するなど、食育活動の中で普 及啓発をします。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | 地区伝達活動等において、レシピカードや媒体、リーフレットを活用 し、朝ごはんの大切さを周知した。 | b | 各種教室や地区伝達活動等において、レシピカードや媒体、リーフ レットを活用し、朝ごはんの大切さを周知する。 |
| | | 4 | 野菜をとることの 普及啓発 | バランスの良い食事をするため、野菜レシピを紹介 するなど、野菜のとり方について食育活動の中で普 及啓発をします。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | 昨年度同様、簡単野菜レシピを作成し、地域のスーパー等で配布し た。また、新たに外部ウェブサイトを活用し、簡単野菜レシピの普及を 行った。食生活改善推進員による地区伝達活動等において、野菜レ シピの紹介をし、普及啓発を図り、参加者より好評であった。 | a | 簡単野菜レシピを作成して地域のスーパー等での配布、外部ウエ ブサイトを活用した、簡単野菜レシピの普及、健康課事業や地区伝 達活動等において、野菜レシピの紹介をし、普及啓発を行う。 |
| | | 5 | 若年者を対象とし た食育の推進 | 大学等と連携を図り、若年者をターゲットとした食育 活動を展開します。 | 高校生 大学生等 | 保健福祉局 健康支援課 | 市内小学生とその保護者を対象とし、市内管理栄養士養成施設の学 生の協力を得て、食育情報誌を作成し、食育を推進した。 配布部数51,740部 配布日平成27年12月7日(H26 実績なし) | a | 市内小学生とその保護者を対象とし、市内管理栄養士養成施設の 学生の協力を得て、食育情報誌を作成する。 作成部数55,000部 配布予定日 平成28年12月上旬 |
| | | 6 | ワーク・ライフ・ バランスの推進 | 「九都県市仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・ バランス)推進キャンペーン」などを実施し、働き方 を見直して家族で食卓を囲む習慣づくりを推進しま す。 | 市民 | 市民局男女共 同参画課 | ・ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施した。 実施日:平成27年2月12日(金) 参加者数:77名 ・九都県市全庁一斉定時退庁を実施した。 実施日:平成27年8月5日(水) | b | ・ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施する。 ・九都県市全庁一斉定時退庁を実施する。 |
| | | 6 | ワーク・ライフ・ バランスの推進 | 「九都県市仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・ バランス)推進キャンペーン」などを実施し、働き方 を見直して家族で食卓を囲む習慣づくりを推進しま す。 | 市民 | 子ども未来局 幼保支援課 | ・全庁一斉定時退庁を実施した。 実施日:平成27年8月5日(水) ・男性の育児休業取得促進奨励金を支給し、男性が育児休業を取得 しやすい職場環境の整備を促すとともに、子育て世帯の仕事と育児 の両立支援を図った。支給実績3件(H26 0件) | b | ・男性の育児休業取得促進奨励金を支給し、男性が育児休業を取 得しやすい職場環境の整備を促すとともに、子育て世帯の仕事と 育児の両立支援を図る。 |
| | | 7 | 子どもルームの 指導員等への 普及啓発 | 子どもルームを運営する千葉市社会福祉協議会に 対し、子どもの望ましい食生活についての情報提供 を行います。 | 千葉市 社会福祉協議会 | 子ども未来局 健全育成課 | 子どもルームの「おやつ」について、放課後の時間帯に栄養面や活 力面から必要とされるものを適切に提供するよう「放課後児童クラブ運 営指針(厚生労働省)」等に基づき、指導した。(H26 実績なし) | b | 子どもルームの「おやつ」について、放課後の時間帯に栄養面や活 力面から必要とされるものを適切に提供するよう「放課後児童クラ ブ運営指針(厚生労働省)」等に基づき、指導する。 |
| | | 8 | 思春期保健対策 事業 | 思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と 体の発達を理解し、自分の体を大切にすることを学 ぶ教室を実施します。 | 思春期の子ども と保護者等 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | 思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解 し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施した。 会場数:35回 参加者数:3,057人(H26 38会場 参加者数:3,725人) | b | 思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理 解し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施する。 |
| | | 9 | 「青少年の日」 「家庭・地域の 日」の推進 | 「家庭・地域の日」の取組みの一環として、給食の代 わりにお弁当を持参してもらう「お弁当の日」を設け ます。 | 小学生 中学生 保護者 | 教育委員会 保健体育課 | 市内全小中特別支援学校において、年2回実施した。(お弁当の日は 小学校…前期1回と12/22に実施。中学校…10/7、12/22に実施。食 の大切さを親子で考えるきっかけとなった。) | b | 「家庭・地域の日」の取組みの一環として、給食の代わりにお弁 当を持参してもらう「お弁当の日」を設けます。 |
| 9 | 「青少年の日」 「家庭・地域の 日」の推進 | 「青少年の日」である毎年9月の第3土曜日に、「青 少年の日フェスタ」を開催し、青少年のコミュニケー ション力を高めるとともに、青少年と家庭・地域のつ ながりを深める機会を提供する中で、お弁当づくり 教室、お菓子づくり教室の開催、市内産新鮮野菜の 販売など、食を通じての青少年と家庭・地域のつな がりを推進します。 | 市民 | 子ども未来局 健全育成課 | 「青少年の日フェスタ」を生涯学習センターにて開催 実施日:平成27年9月19日(土) 参加者数:延4,629人 (H26 延4,024人) ①お弁当づくり教室 ・対象:小学4年生~中学生 ・事前申込制、参加者24人 (H26 22人) ②市内産新鮮野菜の販売(農政課、園芸協会の協力による) ・対象:来場者 | a | 「青少年の日フェスタ」を生涯学習センターにて開催予定 実施日:平成28年9月17日(土) 参加者数:5,000人(予定) ①お弁当づくり教室 ・対象:小学4年生~中学生 ・事前申込制、参加者24人(予定) ②市内産新鮮野菜の販売(農政課、園芸協会の協力による) ・対象:来場者 | | |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 | |
|---------------------|-------------------|---|----------------------|---|---|-----------------|--|--|--|--|
| (2) 妊産婦と乳幼児等への食育の推進 | | 10 | 災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発 | 食料備蓄の取組み方や献立例など、災害等の非常時に備えた食に関する情報提供や啓発を行います。 | 市民 | 総務局防災対策課 | 防災ライセンス講座(備蓄食料の紹介、平成27年10月～12月、参加者数195名) (H26 262人) 2016年けやき倶楽部公開シンポジウム(千葉市の食の備え・家庭備蓄について説明、参加者数280名) | a | 防災ライセンス講座(備蓄食料の紹介、平成28年10月～12月、参加者数240名) | |
| | | 10 | 災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発 | 食料備蓄の取組み方や献立例など、災害等の非常時に備えた食に関する情報提供や啓発を行います。 | 市民 | 保健福祉局健康企画課 | 閲覧者がアクセスしやすいようにホームページを更新し、啓発を図った。 | b | 引き続き、ホームページ等を通じて、備蓄の重要性を啓発するとともに、献立例等の充実を図る。 | |
| | | 10 | 災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発 | 食料備蓄の取組み方や献立例など、災害等の非常時に備えた食に関する情報提供や啓発を行います。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | イベント、地区伝達活動などで、災害時の食の備えについて広く普及啓発を行った。H27 3会場 | b | イベント、地区伝達活動などで、災害時の食の備えについて広く普及啓発を行う。 | |
| | | | 11 | 離乳食教室 | 望ましい食習慣の形成に向けた準備や乳児の咀嚼力を獲得するため、発達に応じた調理形態や食品の選択等について支援します。 | 生後6～8か月児の保護者 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 生後6～8か月児の保護者を対象に、発達に応じた調理形態や食品の選択等の講話及びデモンストレーションや試食を行う離乳食教室を実施した。会場数:50回 参加者:1,860人 (H26 51会場 参加者:1,818人) | b | 生後6～8か月児の保護者を対象に、発達に応じた調理形態や食品の選択等の講話及びデモンストレーションや試食を行う離乳食教室を実施する。(50会場) |
| | | | 12 | 母親&父親学級 | 「食事バランスガイド」等を活用して、妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について支援します。 | 初妊婦とそのパートナー | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 1コース3回の1回目に妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導を行った。53会場 参加者数:1,046人(H26 54会場 参加者数:1,155人) | b | 1コース3回の1回目に妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導を実施 |
| | | | 13 | 妊産婦・新生児訪問指導 | 助産師等訪問指導員が、訪問を希望する妊産婦・新生児の家を訪問し、出産・育児等に関わる様々な相談に応じます。 | 妊産婦乳児の保護者 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 助産師等が妊産婦・新生児の家庭を訪問し相談を実施した。妊産婦4,409人 新生児:4,052人(H26 妊産婦 4,624人 新生児 4,147人) | b | 引き続き、助産師が、妊産婦・新生児の家を訪問し、出産・育児等に関わる様々な相談に応じる。 |
| | | | 14 | 乳幼児健康診査 | 4か月、1歳6か月及び3歳児健診において、乳幼児とその家族の望ましい食習慣の啓発やニーズに応じた栄養相談等を実施します。 | 乳幼児保護者 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 乳幼児健診において、集団指導及び個別栄養相談を実施した。 4か月児健診 160会場 集団啓発 14,844人 栄養相談 2,482人 (H26 161会場 集団啓発 14,850人 栄養相談 2,696人) 1.6歳児健診 152会場 集団啓発 14,666人 栄養相談 1,249人 (H26 152会場 集団啓発 15,522人 栄養相談 1,339人) 3歳児健診 152会場 栄養相談 942人 (H26 150会場 栄養相談 946人) | b | 乳幼児健診において、集団指導及び個別栄養相談を実施する。 |
| | | | 15 | 小児肥満相談 | 3歳児健診からスクリーニングされた肥満度15%以上の子どもとその家族に対して食事や運動等の相談を実施します。 | 幼児保護者 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 3歳児健診当日及び後日に食事や運動などの相談を実施した。 304会場 栄養相談 494人 (H26 278会場 個別栄養相談 427人) | a | 3歳児健診当日及び後日に食事や運動などの相談を実施する。 |
| | | | 16 | 子育て中の保護者への情報提供・相談 | 子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所(園)、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。 | 乳幼児保護者 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、ミニ健康教育での情報提供や栄養相談を実施した。 食に関する電話相談 105件 所内相談 776件 (H26 電話相談 382件 所内相談 545件) | b | 保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、情報提供や相談を実施する。 |
| | | | 16 | 子育て中の保護者への情報提供・相談 | 子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所(園)、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。 | 市民 | こども未来局幼保支援課 | 引き続き、地域子育て支援センター等の育児講座の中で、食育に関する講座等を実施した。 開催数41回(H26実績43回、H27計画33回) 参加人数718人(H26 760人) | a | 子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。(H28計画 30回) |
| 16 | 子育て中の保護者への情報提供・相談 | 子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所(園)、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。 | 市民 | こども未来局幼保運営課 | 認定こども園、保育所(園)で子育て中の保護者に対して、地域活動時等随時実施した。食事に対する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じた。実施59か所(H26 59か所) | b | 認定こども園、保育所(園)で入所児・非入所児に関わらず子育て中の保護者に対して、地域活動時など随時実施する。食事に関する情報の提供とともに、育児や食事の相談に応じる。(59か所) | | | |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 | |
|----------|-------------------|--------------------|------------------|--|---|----------------------|---|---|--|--|
| | (3)健康づくりのための食育の推進 | 17 | 栄養相談 | 食生活の見直し、調理方法や工夫の仕方、食事療法等、保健福祉センター等の管理栄養士が個別相談に応じます。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 保健福祉センターの管理栄養士に個別の栄養相談を実施した。 栄養相談:126件 所内相談:117件 電話相談:58件 (H26 栄養相談:147件 所内相談:47件 電話相談:70件) | b | 保健福祉センターの管理栄養士が個別の相談を実施する。 | |
| | | 18 | 食の実践教室 | 生活習慣病予防や各ライフステージにおける望ましい食生活の普及啓発を調理実習を通じて行います。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 生活習慣病予防のための食生活や運動等に関する「食の実践教室」を実施した。 会場数:66回 参加者:884人（一部別事業へ移行のため会場数が削減）(H26 74会場 参加者:1,118人) | b | 生活習慣病予防のための食生活や運動等に関する「食の実践教室」を実施する。 | |
| | | 19 | 健康教育健康相談 | 生活習慣の改善を目的に、管理栄養士や保健師等が、一人ひとりのニーズに応じ、健康に関する正しい知識の普及や、個別相談に応じます。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 糖尿病予防や骨粗しょう症予防等病態別の健康教育 会場数:253回 参加者延数:13,316人 (H26 251回 9,960人) 栄養・歯科・健康等の個別相談 会場数:2,628回 利用者延数:13,464人 (H26 2,519回 12,917人) | a | 生活習慣の改善を目的に、管理栄養士や保健師等が、一人ひとりのニーズに応じ、健康に関する正しい知識の普及や、個別相談に応じます。 | |
| | (4)高齢期における食育の推進 | 20 | 介護予防教室 介護予防相談 | 高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における介護予防の取組みを支援します。 | 高齢者 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 介護予防に関する教室、講演会等（H26第6期介護保険法改正に伴い2次予防事業は廃止のため除く）429会場 延8,250人（食事セミナーを除く） （うち栄養に関する教育 97回1,629人）(H26 455会場 延5,929人（食事セミナーを除く）うち栄養に関する教育 100会場1,932人） 介護予防に関する個別相談 583会場 延2,033人（うち栄養相談 延260人）(H26 264回 利用者延数:1,227人（うち栄養相談 延267人）) | a | 栄養・口腔・運動等介護予防に関する知識・情報を普及啓発することで、高齢者が自主的に継続して介護予防に取り組めるように支援します。 | |
| | | 20 | 介護予防教室 | 高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における介護予防の取組みを支援します。 | 高齢者 | 保健福祉局地域包括ケア推進課 | 元気アップ教室 全18コース (H26 19コース) 開催回数214回 (H26 226回) 延人員数1,778人 (H26 2,246人) | b | 高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における介護予防の取組みを支援する元気アップ教室を開催する。 ・全18コース（開催回数216回） | |
| | | 21 | 食事セミナー | 高齢期を健康に過ごすための食生活と運動の実践方法を伝え、実践の継続を支援します。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課高齢福祉課各区健康課 | 地域の高齢者を対象に、食と運動に関する介護予防教室を実施した。 117会場 延 1,462人(H26 97会場 延 1,372人) | a | 地域の高齢者を対象に、食と運動に関する介護予防教室を実施予定。 | |
| | 1 家庭・地域における食育の推進 | (5)歯科保健活動における食育の推進 | 23 | ヘルシーカムカムの開催 | 「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)に歯科医師会と共催でイベントを開催し、むし菌や歯周病による歯の喪失予防や口腔機能の維持・向上を推進するための普及啓発を行い、市民の生涯にわたる健全な口腔保健の確立を図ります。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課 | 「歯と口の衛生週間」にH27.5.24(日)そごう千葉店にてヘルシーカムカムを開催(2,609人)。フッ化物でぶくぶく体験コーナーやかみかみ体操コーナーなどで、幼児期へはむし菌予防と高齢者に口腔機能を高めることや噛むことの大切さを、その他多くのコーナーで口腔衛生・疾病予防の普及啓発を行った。(H26 2,776人) | b | 歯や口の疾病予防や、噛むことの大切さ、口腔機能の維持・向上を幅広い年齢層に普及啓発を実施します。 |
| | | | 24 | 乳幼児期の噛む力、飲み込む力の育成 | 乳幼児健康診査や2歳児むし菌予防教室、幼稚園等歯みがき指導などの各種歯科保健事業を通じ、乳幼児が正しい口腔機能を獲得するための支援を行います。 | 乳幼児保護者 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 乳幼児健診及び母親&父親学級517回23,569人(H26 572回 25,097人) 乳幼児歯科相談 682回 3,787人(H26 413回 3,049人) 2歳児むし菌予防教室 235回 2,979人(H26 239回 3,233人) 幼稚園等歯みがき指導 39回 1,692人(H26 35回 1,318人) その他の健康教育 141回 3,413人(H26 50回 1,072人)を実施した。 | a | 乳幼児期から始まる口腔機能の獲得を支援するため、各種歯科保健事業を通じて保護者への知識の普及を実施します。 |
| | | | 25 | 妊産婦歯科健診 | 妊産婦に対し、妊娠中と産後に各1回歯科健診を実施し、口腔衛生の普及啓発及び歯科保健の意識向上を図り、歯の喪失を予防します。 | 妊産婦 | 保健福祉局健康支援課 | 協力歯医療機関(326)にて、妊婦 2,551人(32.1%)・産婦 1,858人(24.8%)に健診と口腔衛生の知識の普及を行った。(H26 324医療機関 妊婦2,566人(32.0%) 産婦1,951人(26.1%)) | b | 多くの妊産婦が受診し、歯科保健の意識向上や歯科疾患予防につながるよう、健診受診のメリットのPRを実施します。 |
| 26 | | | 口腔ケア事業 | 歯科医院において口腔機能の評価、必要な相談・指導を行い、高齢者の口腔機能の向上を図ります。 | 高齢者 | 保健福祉局健康支援課高齢福祉課 | 一般高齢者を対象者に口腔機能評価・指導を実施した。217人 協力医療機関202 (H26 622人 協力医療機関204) 介護保険法の改正により、対象者が虚弱高齢者から一般高齢者に変更になり受診者が減少した。 | b | 一般高齢者を対象に、基本チェックリストの口腔項目にチェックのある方及び健康課の介護予防歯科事業参加予定の方に、口腔機能評価・指導を実施し、口腔機能の向上を支援します。 | |
| 27 | | | 歯っぴー健口教室 | 高齢者の口腔機能の向上のためのプログラムを提供するとともに、日常的に実践できるよう支援します。 | 高齢者 | 保健福祉局健康支援課高齢福祉課各区健康課 | 一般高齢者を対象者に、4回1コースを24コースと2回1コースを12コース、計120回 1,703人に実施した。 (H26 4回コースを24コース、計93回 479人) | a | 一般高齢者を対象に、口腔機能向上に関する知識の提供、実習を行うことで、高齢者が自主的に継続して口腔機能の向上に取り組めるように支援する。 | |
| 28 | | | 学校歯科事業 | 歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図ります。 | 小学生 中学生 | 教育委員会保健体育課 | 歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図った。 | b | 歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図ります。 | |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|----------|-----------------------|----|---------------------|--|------------------|-------------------------|--|-------------|---|
| | (6) 地域における「食」を学ぶ機会の充実 | 29 | 男性料理教室 | 男女共同参画センターや公民館において、男性を対象に、調理に関する知識や技術を習得するための講座を開催します。 | 市民(男性) | 市民局男女共同参画課 | ・男性のための料理講座Ⅰ 「初心者でも簡単！ヘルシー和食を作ろう」 日時：4月24日(金)10:00～13:00 会場：男女共同参画センター料理実習室A 受講者12名(定員12名) ・男性のための料理講座Ⅱ 「父子で楽しく作ってみよう！にぎらないおにぎり」 日時：8月1日(土)10:00～13:00 会場：男女共同参画センター料理実習室A 受講者：父子6組13名(定員6組12名) | b | ・男性のための料理講座Ⅰ 「初心者でも簡単！魚料理に挑戦」 日時：4月28日(木)10:00～13:00 会場：男女共同参画センター料理実習室A 募集定員：12名 ・男性のための料理講座Ⅱ 料理未定 日程：7月下旬予定 会場：男女共同参画センター料理実習室A 募集定員：父子6組12名 ・男性のための料理講座Ⅲ 料理未定 日程：11月予定 会場：男女共同参画センター料理実習室A 募集定員：12名 |
| | | 29 | 男性料理教室 | 男女共同参画センターや公民館において、男性を対象に、調理に関する知識や技術を習得するための講座を開催します。 | 市民(男性) | 教育委員会生涯学習振興課 | 公民館で、「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施した。 講座数：6 参加者数：延78人 (H26講座数：9 参加者：延199人) | b | 公民館で、「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施する。 講座数：6 |
| | | 30 | 食生活改善推進員による地区組織活動支援 | 地域における食育の推進を担う食生活改善推進員が親子料理教室や食生活改善教室等の地区組織活動を実施します。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 食生活改善推進員(平成27年4月現在295人)が実施する地区伝達講習会を支援した。会場数：541回 参加者数：15,586人 健康づくり支援マップに「ヘルシーメニュー」を掲載した。 (H26 557会場 参加者数：17,309人) | b | 食生活改善推進員(平成28年4月現在295人)が実施する地区伝達講習会を支援する。 健康づくり支援マップに「ヘルシーメニュー」を掲載予定。 |
| | | 31 | 公民館での食育講座 | 市民が利用しやすい、公民館・保健福祉センター等で子どもの調理体験や生活習慣病予防のための食生活等をテーマとした食育講座を実施します。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課各区健康課 | 保健福祉センター等で親子料理教室を実施した。 会場数：12回 参加者数：390人 (H26 15会場 参加者数：398人) | b | 保健福祉センター等で親子料理教室を実施する。 |
| | | 31 | 公民館での食育講座 | 市民が利用しやすい、公民館・保健福祉センター等で子どもの調理体験や生活習慣病予防のための食生活等をテーマとした食育講座を実施します。 | 市民 | 教育委員会生涯学習振興課 | 公民館で、「子どもクリスマスケーキづくり教室」「ヘルシー料理教室」などを実施した。 実施講座数：152 参加者：延3,418人 (H26講座数：151 参加者：延3,007人) | b | 公民館で、「親子料理教室」「子どもクリスマスケーキづくり教室」「ヘルシー料理教室」などを実施する。 講座数：112 |
| | | 32 | ときめきサタディ | 千葉市内の小中学生の体験学習や異学年の交流を目的とした「ときめきサタディ」において、千葉市食生活改善推進員等による、お菓子作りや料理教室で健康な食生活に関する講座を開催します。 | 小学生 中学生 親子 | 教育委員会南部青少年センター(生涯学習振興課) | 「親子でおいしくておなかが喜ぶデザート作り」(6月13日 参加者数17名) 「おいしいプリン作り」(10月24日 参加者数8名) 「親子で太巻き寿司を作ろう」(2月6日 参加者数18名) 「おいしいクッキー作り」(3月5日 参加者数16名) (H26 3講座 47名) | b | 「親子でおいしくておなかが喜ぶデザート作り」(6月11日予定) 「おいしいおやつ作り」(11月5日予定) 「親子で太巻き寿司を作ろう」(2月4日予定) 「おいしいクッキー作り」(2月25日予定) |
| | | 33 | わくわくカレッジ | 青少年・一般市民の生活文化向上と健全な仲間づくり及び連帯感の高揚を図ることを目的とした「わくわくカレッジ」において、食生活改善推進員等による食に関する講座を開催します。 | 青少年 一般 | 教育委員会南部青少年センター(生涯学習振興課) | 「イタリアンピザ料理入門」(11月15日 参加者数22名) 「和風料理入門」(2月20日 参加者数9名) (H26 2講座 36名) | b | 「イタリアン料理入門」(10月30日予定) |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|-----------------------|-----------------------|--|---------------|---|---|---------------------|--|-------------|--|
| | （7）食品関連事業者等と連携した食育の推進 | 34 | 健康づくり応援店事業 | 飲食店等が外食、惣菜、仕出し弁当等に栄養成分表示をするとともに、ヘルシーメニュー、ヘルシーオーダー、健康づくりに係る情報提供、禁煙及び禁煙タイムに取り組めるよう支援します。 | 市民 飲食店等 | 保健福祉局健康支援課 食品安全課 | 健康づくり応援店を通じて、健康づくりの普及啓発を図るために必要な情報を各店舗に提供し、支援した。 健康づくり応援店の取組について、ホームページに掲載した。 健康づくり応援店 店舗数:252(H26 255店舗)店舗拡充のため各施設への周知を積極的に行ったが、廃業店舗が上回った。 | b | 店舗が活用しやすい、健康づくりに係る情報提供の媒体等を提供する。健康づくり応援店の取組について、ホームページに掲載し啓発する。また健康づくり応援店店舗を拡充するため、事業所などでも積極的に周知を図る。 |
| | | 35 | 給食施設指導 | 給食施設に対して利用者の状態に応じた適切な栄養管理ができるよう必要な援助・指導を実施し、利用者の健康づくりを支援します。 | 給食施設 | 保健福祉局健康支援課 食品安全課 | 給食施設を巡回し、個別指導を実施した。 給食施設数:556施設(H26 546施設) 個別指導施設数:187施設(H26 256施設) 給食施設従事者を対象とした研修会を開催して集団指導を実施し、知識の向上を図った。会場数:6回 受講者数:634人(H26 7回 781人) | b | 給食施設を巡回し、個別指導を実施する。(4~2月)給食施設従事者を対象とした研修会を開催して集団指導を実施し、知識の向上を図る。(6回/年) |
| | | 36 | プロから学ぶ食育 | 調理師会等と連携し、専門家等から直接指導を受けることができる料理教室を実施します。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課 各区健康課 | 親子料理教室を実施 豆板さん教室(すし)実施回数:1回 参加人数:22名(H26 26名) そば打ち教室 実施回数:1回 参加人数:18名(H26 7名) スイーツ教室 実施回数:1回 参加人数:22名(H26 15名) | a | 調理師会と連携し、プロから学ぶ食育の教室を実施予定(寿司・そば打ち教室・スイーツ教室) |
| （1）保育活動や教育活動を通じた食育の推進 | | 37 | 食育計画の作成 | 「保育所保育指針」や「保育所における食育に関する指針」に基づき、乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう保育課程及び指導計画に位置付けられた食育の計画を作成します。 | 入所(園) 児童 保護者 | こども未来局 幼保運営課 | 「食育計画を作成するための資料」を活用し、各保育所・認定こども園に合った食育計画を作成し実践した。実施59か所(H26 59か所) | b | 「保育所保育指針」や「保育所における食育に関する指針」に基づき、各認定こども園、各保育所(園)に合った食育計画を作成し実践する。(59か所) |
| | | 38 | 保育を通じた食育活動 | 全職員が専門性を活かし、「食育計画」に基づいて、保護者と連携しながら、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を推進します。 | 入所(園) 児童 保護者 | こども未来局 幼保運営課 | 全職員が専門性を活かし、「食育計画」に基づいて、保護者と連携しながら、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を推進した。実施59か所(H26 59か所) | b | 「食育計画」に基づいて、楽しく食事をしたり、栽培や調理体験等を行ったりして、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を行う。(59か所) |
| | | 39 | 管理栄養士等による個別指導 | 管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギーへの対応、偏食、肥満、マナーなど個別の面接指導を実施します。 | 入所(園) 児童 保護者 | こども未来局 幼保運営課 | 管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギー等、子どもの状況に合わせて個別対応を行い、偏食、肥満、マナーなど個別の面接指導を実施した。実施59か所(H26 59か所) | b | 管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギー等、食事の配慮が必要な子ども一人ひとりの状況に合わせて対応し、肥満、偏食、マナーなど個別指導を実施する。(59か所) |
| | | 40 | 私立幼稚園における食育活動 | 野菜の栽培、「食育のつどい」への参加など、食に関する体験活動を通じて、食に関する興味・関心や食べ物を大切にすることや感謝の気持ちを育てます。また、楽しく、和やかな雰囲気の中でお弁当や給食をとる環境を整えることで、進んで食べようとする気持ちを育て、望ましい食習慣を形成します。 | 私立幼稚園の 園児 | こども未来局 幼保支援課 | 「食育のつどい」に、公益社団法人千葉市幼稚園協会が出展し、幼稚園における食育活動を紹介 27年度は、食べ物クイズや幼稚園における食育体験の様子等を展示した。 | b | 「食育のつどい」に、公益社団法人千葉市幼稚園協会が出展し、幼稚園における食育活動を紹介 |
| | | 41 | 食に関する指導(授業) | 体育科や家庭科等の年間指導計画に基づき、学級・学科担任等は、栄養教諭・学校栄養職員、企業等と連携し、教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術、食に関する知識、食文化について指導します。 | 小学生 中学生 | 教育委員会 指導課 | 各学校の児童生徒の実態に合わせて教科等ごとに年間指導計画を作成し、発達段階に応じた食に関する指導を計画的に行うよう指導した。学校訪問の際には、栄養教諭等と連携した授業もみられた。食べ物への親しみが増し、嫌いな食べ物でも食べてみようとする姿がみられた。 | b | 各学校の児童生徒の実態に合わせて教科等ごとに年間指導計画を作成し、発達段階に応じた食に関する指導を計画的に行うよう指導する。 |
| | | 41 | | 体育科や家庭科等の年間指導計画に基づき、学級・学科担任等は、栄養教諭・学校栄養職員、企業等と連携し、教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術、食に関する知識、食文化について指導します。 | 小学生 中学生 | 教育委員会 保健体育課 | 各学校の実態に合わせて作成した食に関する指導の全体計画および年間指導計画に基づき、発達段階に応じて学校給食を教材として活用しながら、食に関する指導を各教科等において実施した。 | b | 体育科や家庭科等の年間指導計画に基づき、学級・学科担任等は、栄養教諭・学校栄養職員、企業等と連携し、教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術、食に関する知識、食文化について指導します。 |
| 42 | 食に関する指導の全体計画の作成 | 学校における食育は、給食の時間、特別活動、各教科等のさまざまな教育内容に密接に関わっているため、計画的・体系的に指導を行うことが必要です。そのため、学校における食育の目標や具体的な取組の方針を示した全体計画を作成します。 | 小学生 中学生 | 教育委員会 保健体育課 | 全体計画を作成していない学校に対しては、研修会等で作成を促すとともに、既に作成している学校については、内容確認等を行い、実態に即した計画になるよう指導を行った。結果、小・中学校全校で作成された。 | b | 学校における食育は、給食の時間、特別活動、各教科等のさまざまな教育内容に密接に関わっているため、計画的・体系的に指導を行うことが必要です。そのため、学校における食育の目標や具体的な取組の方針を示した「食に関する年間指導計画」の作成を小・中学校全校に指導します。 | | |
| 43 | 栄養教諭・学校栄養職員の個別の相談指導 | 栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭等が連携し、肥満、やせ、偏食、食物アレルギーについての個別の相談指導を実施します。 | 小学生 中学生 | 教育委員会 保健体育課 | 養護教諭と連携しながら、食物アレルギー、肥満、やせなどの個別の相談指導を推進した。 | b | 栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭等が連携し、肥満、やせ、偏食、食物アレルギーについての個別の相談指導を実施します。 | | |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|------------------------------|----------------------|----|-------------------|---|---------------------------|-----------------|--|-------------|---|
| 2 保育所（園）、幼稚園、学校等における食育の推進 | （2）指導体制の充実 | 44 | 職員研修の充実 | 保育所（園）における魅力ある効果的な食育の推進に向け、管理栄養士等や保育士・看護師等の職員を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等の研修を行います。 食物アレルギーについて正しい知識の普及と「保育所における食物アレルギー対応の手引き」に関する研修を行います。 | 管理栄養士等 保育士 看護師等 | こども未来局 幼保運営課 | 給食担当者を中心に、衛生管理や食育についての研修、「保育と連動した食育」をテーマとした講演等を受け、所内研修を行い、実践に活かした。実施59か所（H26 59か所） | b | 給食担当者を中心に、衛生講習会2回開催、アレルギー対応についての講演を行う。（59か所） |
| | | 44 | 職員研修の充実 | 栄養教諭・学校栄養職員や、給食指導主任等を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導、食物アレルギー等の研修を行います。 | 栄養教諭 学校栄養職員 給食指導主任等 | 教育委員会 保健体育課 | 栄養教諭・学校栄養職員を対象とした研修を実施するほか、給食主任を対象とした研修会を開催した。 | b | 栄養教諭・学校栄養職員や、給食指導主任等を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導、食物アレルギー等の研修を行います。 |
| | （3）給食を通じた食育の充実 | 45 | 特色ある保育所（園）給食 | 旬の食材を取り入れ栄養バランスのとれた献立を作成し、発達段階に応じた食事形態の給食を実施するとともに、一人ひとりに合った援助をします。 食に関する調査を実施して、子どもの現状を把握し、献立内容の充実および望ましい食習慣へつなげます。 | 入所（園）児童 | こども未来局 幼保運営課 | 子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事状況を踏まえて栄養士が献立を作成し、発達の段階に応じた食事提供を行った。実施59か所（H26 59か所） | b | 子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事条項を踏まえて、地域の食文化や行事食を取り入れた献立を管理栄養士等が作成し、発達の段階に応じた食事提供を行う。（59か所） |
| | | 46 | 特色ある学校給食 | 交流給食や行事食、招待給食、バイキング、セレクト給食など、学校ごとに特色ある給食を実施します。 | 小学生 中学生 | 教育委員会 保健体育課 | 学校栄養職員等の研修会において特色ある給食形態の実技研修を行い、実施に当たっての留意点等を確認した。そして、各学校の実態に合わせた取組みをさらに推進した。児童、保護者より好評であった。 | b | 交流給食や行事食、招待給食、バイキング、セレクト給食など、学校ごとに特色ある給食を実施します。 |
| | | 47 | 地元農産物を導入した学校給食の実施 | 新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。 食育の日（毎月19日）や市民の日（10月18日）等に、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施します。 | 小学生 中学生 | 教育委員会 保健体育課 | 関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材料として食育及び地産地消を推進した。（全8回）家庭で地産地消の会話が aumentato、好評であった。 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジンなどを利用した。 | b | 新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。 食育の日（毎月19日）や市民の日（10月18日）等に、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施します。 |
| | | 47 | 地元農産物を導入した学校給食の実施 | 新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。 食育の日（毎月19日）や市民の日（10月18日）等に、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施します。 | 小学生 中学生 | 経済農政局 農政課 | 市内産農産物の利用を推進するため、小学校・特別支援学校において、特別メニューや共通給食に合わせて、JAや卸売会社などと連携して市内産農産物を導入した。 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用した。 地元農産物導入品目 9品目（H26 9品目） | b | 市内産農産物の利用を推進するため、小学校・特別支援学校において、特別メニューや共通給食に合わせて、JAや卸売会社などと連携して市内産農産物を導入する。 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用する。 地元農産物導入品目予定 8品目 |
| | （4）農業体験や食推進の調理等の体験活動 | 48 | 栽培・収穫体験 | 乳幼児が栽培・収穫活動を体験し、野菜を見たり育てたりする喜びを実感することで「食」への興味を育てます。 | 入所（園）児童 | こども未来局 幼保運営課 | 栽培・収穫活動を通し、育てることの喜びを実感し、「食」への興味を育てていった。実施59か所（H26 59か所） | b | 各認定こども園、保育所（園）に応じた栽培・収穫活動を実施し、育てることの喜びを実感し、「食」への興味を育てていく。（59か所） |
| | | 49 | クッキング保育（調理体験） | 食材に目を向け、自分でかかわった料理を食べる楽しさやうれしさを体験し、調理することに関心をもつようにします。 | 入所（園）児童 | こども未来局 幼保運営課 | 皮むき等の食事づくりに関わることで、食に関する興味・関心を高め、食べ物への感謝の気持ちを育てた。実施59か所（H26 59か所） | b | 皮むきやすじ取り等の食事作りに関わることで、食に関する興味・関心を高め、食べ物への感謝の気持ちを育てる。（59か所） |
| | | 50 | 農業体験 | 農業体験等を通して、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深められるようにします。 | 小学生 中学生 | 教育委員会 指導課 | 各学校の年間指導計画に基づき、発達段階に応じた食に関する指導を行った。実際に野菜を育てることで、嫌いな野菜への抵抗感を抑えることができた。 | b | 各学校の年間指導計画に基づき、発達段階に応じた食に関する指導を行う。 |
| | | 51 | 小学生の農山村留学事業 | 現地校との交流・地域の家庭へのホームステイ・自然体験・登山・炭焼き・野菜の収穫・樹木の伐採、枝打ち等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫、収穫したものをを使っての調理、その地域の郷土料理づくりなどをとおして食に関する理解の促進を図ります。 | 小学生 | 教育委員会 指導課 | 2校の小学6年生170人が茨城県常陸太田市での農山村留学を実施。110校の小学6年生が千葉県内の宿泊施設を利用した農山村留学に参加した。それぞれの地域の特色を生かした体験活動に基づき、子どもたちの自主性、創造性等の伸長を図ることができた。 （H26 6年生 長野県19校1,070人、茨城県2校196人、千葉県92校） | b | 現地校との交流・地域での民泊・自然体験活動・農林漁業体験における野菜の収穫・樹木の伐採、魚釣り等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫、収穫したものをを使っての調理、その地域の郷土料理づくりなどをとおして食に関する理解の促進を図る。 |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|----------|---------------------|----|------------------|---|----------------|--------------------------------|---|-------------|---|
| | （5）保護者への普及啓発・地域との連携 | 52 | 給食の展示 | 給食について親子で会話し、食に関心を持ってもらうことや、子どもが食べる食事量の目安になるよう、保育所（園）で給食を展示し、作り方等を紹介します。 | 入所（園）児童 保護者 | こども未来局 幼保運営課 | 年間を通して食事内容の展示ができるように工夫した。レシピや掲示物等、展示コーナーの内容についても工夫した。実施59か所（H26 59か所） | b | 年間を通じて食事内容の展示を行う。（実物展示の休止期間中は保育所（園）で方法を工夫する。）レシピや掲示物などコーナーの内容についても工夫して実践する。（59か所） |
| | | 53 | ホームページでの情報提供 | 食育ホームページ“おいしい！元気！ちばキッズ”で、離乳食・幼児食のレシピや保育所での食育活動の様子などの情報を発信します。 | 市民 | こども未来局 幼保運営課 | 保育所の献立（子どもたちに人気の保育所メニュー）のレシピ紹介、こどもの食事Q&Aについて更新をした。レシピ紹介12回/年（H26 Q&A更新4回/年） | b | 保育所の献立（食べよう！旬のやさい）のレシピ紹介、こどもの食事Q&Aについて更新する。また、離乳食や食具の使い方についての情報を更新する。レシピ紹介12回/年 Q&A及び情報の更新4回/年 |
| | | 54 | 食育だよりなどを通じた情報提供 | お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役立つ情報のPRを行います。 | 保護者 | こども未来局 幼保運営課 | 朝食の大切さ、家族で食事、生活リズムに関する情報提供をした。実施59か所（H26 59か所） | b | 食事の大切さ、共食、生活リズムなど様々な情報を提供する。（59か所） |
| | | 54 | 食育だよりなどを通じた情報提供 | お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役立つ情報のPRを行います。 | 保護者 | 教育委員会 保健体育課 | 給食だよりや給食試食会等を活用して情報提供を行った。試食会参加者より好評であった。 | b | お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役立つ情報のPRを行います。 |
| | | 55 | 家庭配付献立表を活用した情報提供 | 家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。 | 保護者 | こども未来局 幼保運営課 | 毎月保護者に配付する献立表に「野菜がたくさん食べられる保育所メニュー」を取り入れ、旬の野菜を紹介するミニコラム、19日の食育の日の献立のレシピ紹介をした。12回/年（H26 12回/年） | b | 毎月保護者に配付する献立表に「和食」を取り入れ、和食を紹介するミニコラム、19日の食育の日の献立のレシピ紹介をする。（12回/年） |
| | | 55 | 家庭配付献立表を活用した情報提供 | 家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。 | 保護者 | 教育委員会 保健体育課 | 給食だよりや給食試食会、ホームページ等を活用して情報提供を行った。 | b | 家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。 |
| | （1）市内産農畜産物への理解の促進 | 57 | 千葉市産農産物生産者認証制度 | 土壌診断の定期的な実施、農薬の適正使用の遵守、生産履歴の記帳、堆肥の利用等、市独自の基準を満たした生産者を認証します。 | 農業者 | 経済農政局 農政課 | 千葉市産農産物生産者認証者数 184名。（H29目標 200名） | b | 千葉市産農産物生産者認証者を増やす。 |
| | | 58 | 市内産農畜産物の認知度の向上 | 市民公募・市民投票で決定した「地産地消シンボルマーク」を千葉市産農産物生産者認証制度の認証マークとして活用し、市内産農産物の認知度を高めます。 | 市民 | 経済農政局 農政課 | 市内産農産物が身近な飲食店で食べられるよう千葉市産農産物生産者認証者と市内飲食店をマッチングさせた。また、区役所朝市や幼稚園のふれあい市で認証者の農産物を販売することで市内産農産物の販売促進を行い市内産農産物の認知度を高めた。マッチング飲食店数 6件（H26 0件） | a | 市内産農産物が身近な飲食店で食べられるよう千葉市産農産物生産者認証者と市内飲食店をマッチングさせる。また、区役所朝市で認証者の農産物を販売することで市内産農産物の販売促進を行い市内産農産物の認知度を高める。 |
| | | 59 | 市内産農畜産物のブランド化の推進 | ブランド化の可能性を検討するため、古くから地域で生産される野菜等を調査するほか、新品目の栽培試験を行います。 | 農業者 | 経済農政局 農政センター 農業生産 振興課 | 緑区土気町で古くから生産されている土気カラシナの種採りを行った。 | b | 緑区土気町で古くから生産されている土気カラシナの種採りを行う。 |
| | | 60 | 生産者による出張授業 | 生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。 | 小学生 | 経済農政局 農政課 | 生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施した。 5月 春夏ニンジン 9月 牛乳 11月 キャベツ 11月 コマツナ 1月 秋冬ニンジン 実施回数 5回（H26 5回） | b | 生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施する。 5月 春夏ニンジン 10月 牛乳 11月 キャベツ 11月 コマツナ 1月 秋冬ニンジン |
| | | 60 | 生産者による出張授業 | 生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。 | 小学生 | 教育委員会 保健体育課 | 生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施した。出張授業には、保護者の参加もあった。「家庭でその食材を使う料理が増えた。」と児童・保護者より好評であった。 | b | 生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。 |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|---------------------------|------------|----|------------------|---|-------------------------------|--------------|---|-------------|--|
| 3 地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進 | (2)地産地消の推進 | 61 | 千葉市地産地消推進連絡会議の実施 | 市内産農畜産物の安定的な生産と供給、生産者と消費者の交流促進、「食」や「農」に関する情報収集・提供など地産地消の推進に取り組めます。 | 生産者 農業団体 消費者団体 流通関係者 | 経済農政局 農政課 | 各団体の活動について情報交換を行い、情報の共有化を図り、相互理解ができるよう検討した。 | b | 各団体の活動について情報交換を行い、情報の共有化を図り、相互理解の促進に努める。 |
| | | 62 | 地産地消キャンペーンの開催 | 新鮮で安全安心な農畜産物を、より多くの市民にPRし、「食」や「農」に対する関心を高めるために、各種イベント会場や販売店等で千葉市の農業の紹介や農畜産物の展示即売キャンペーンを開催します。 | 市民 | 経済農政局 農政課 | 地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施した。 ①千葉城さくら祭り ②千葉市フェア ③「食育のつどい」 ④そごう×サンケイリビングイベント ⑤モノレール祭り ⑥そごう千葉包括提携記念イベント ⑦千葉市スペシャルデー ⑧青少年のフェスタ ⑨コミュニティまつり ⑩落花生キャンペーン ⑪千葉湊大漁まつり ⑫旬菜くらぶお客様感謝祭 ⑬千葉市企業立地セミナー ⑭イチゴキャンペーン 他に区役所朝市や幼稚園でのふれあい市を実施 (区役所朝市 月1回美浜区役所、稲毛区役所、花見川区役所) (幼稚園ふれあい市 不定期 2幼稚園) キャンペーン14回(H27目標 12回) | a | 地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施する。 ①千葉城さくら祭り ②千葉市フェア ③「食育のつどい」 ④千葉市スペシャルデー ⑤そごう千葉市・市原市・四街道市連携キャンペーン ⑥青少年のフェスタ ⑦コミュニティまつり ⑧千葉湊大漁まつり ⑨千葉市企業立地セミナー 他に区役所朝市や幼稚園でのふれあい市を実施 キャンペーン9回予定 |
| | | 63 | 市内産農産物の販売促進 | 市民に市内産農畜産物を購入してもらうため、直売所や観光農園でのもぎ取りなどのほか、スーパーなどの販売店での市内産農畜産物販売コーナーの設置を推進します。 | 生産者 農業団体 流通関係者 | 経済農政局 農政課 | 市内生産者と市内飲食店のマッチングを行い市内産農産物の販売促進を行った。 マッチング飲食店数 6店(H26 0店) | a | 市内飲食店で市内農産物を活用できるような流通システムの実証実験を行い、自主事業化の課題等を抽出する。 |
| | | 64 | 地産地消の情報提供 | 直売所や観光農園の紹介など地産地消に関する様々な情報をホームページ、ソーシャルメディアなどを活用して提供します。 | 市民 | 経済農政局 農政課 | 地産地消ホームページを見る人によりわかりやすいようにイラストや写真を多用するなど、市内産農産物の情報を積極的に消費者に発信した。 (その他情報提供メディア:市政だより、千葉あそび、観光協会) | a | 地産地消ホームページを適時更新することで、市内産農産物の情報を消費者に積極的に発信する。 |
| | | 65 | 旬の農産物の紹介 | 市内産農産物の旬を紹介し、市内農産物のPRに努めます。 | 〃 | 経済農政局 農政課 | 地産地消ホームページを見る人がより興味を引くように、イラストや写真を多用した。また、トップセールスにより積極的に旬の市内産農産物を紹介した。(千葉市フェア、イチゴキャンペーン) | a | 地産地消ホームページを適時更新することで、市内産農産物の情報を消費者に積極的に発信する。また、トップセールスにより積極的に旬の市内産農産物を紹介する。 |
| | | 66 | 給食への市内産農産物の導入 | 小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。 | 小学生 中学生等 | 経済農政局 農政課 | 市内産農産物の利用を推進するため、小学校・特別支援学校において、特別メニューや共通給食に合わせて、JAや卸売会社などと連携して、市内産農産物を導入した。 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用した。 地元農産物導入品目 9品目(H26 9品目) | b | 市内産農産物の利用を推進するため、小学校・特別支援学校において、特別メニューや共通給食に合わせて、JAや卸売会社などと連携して、市内産農産物を導入する。 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用する。 地元農産物導入品目予定 8品目 |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|----------|-----------------------------|----|-------------------------|---|-------------|----------------------------|--|-------------|---|
| | | 66 | 給食への市内産農産物の導入 | 小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。 | 小学生 中学生等 | 教育委員会 保健体育課 | 関係機関と連携して積極的に市内産農産物の使用を推進した。給食で話題にし、児童の食に関する指導の機会となった。 | b | 小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。 |
| | (3) と生産者 と消費者 との交流 | 67 | ふるさと農園事業 | 農作物の生産や加工、実習を通して土や自然に親しみ、農業に対する理解を深めるとともに、都市部と農村部の情報交換、ふれあいの場を提供します。 | 市民 | 経済農政局 農政センター 農業経営支援課 | 農業体験教室等受講者数 2,539人(H26 2,347人) | b | 平成27年度と同様 |
| | | 68 | 市民農園・体験農園・観光農園の整備と利用促進 | 生産から収穫まで、気軽に市民が農業に接することができる場として、市民農園・体験農園・観光農園の整備を推進します。 | 市民 | 経済農政局 農政課 | 市民農園35か所、観光農園27か所の情報を提供した。 ・市民農園数35か所(H26 34か所) 利用者数1,587人(H26 1,561人) ・観光農園数27か所(H26 27か所) 入園者数75,842人(H26 75,586人) ・体験農園数4か所(H26 4か所) 利用者数276人(H26 322人) ・バリアフリートイレ設置農園数 9か所(H27目標 9か所) | a | 市民農園34か所、観光農園26か所の情報を提供する。市民農園の利用率の向上を図るため栽培アドバイザーを派遣する。 |
| | (4) 地元でとれる た料理の普及 | 69 | 郷土料理の普及啓発 | 食生活改善推進員の地区組織活動やホームページを利用し、地元で生産される食材を活かした料理の普及を図り、地産地消を推進します。伝統料理や郷土料理の掘り起こしと普及啓発を推進します。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | 食生活改善推進員の地区伝達活動等において、太巻き寿司講習会を開催し、郷土料理の普及を進めた。また、千葉市産の野菜、果物などを使ったスイーツ教室を開催した。 | b | 食生活改善推進員の地区伝達活動等において、太巻き寿司講習会や、地場産の食材を使った調理実習などを実施予定。 |
| | | 70 | 下田農業ふれあい館(下田都市農業交流センター) | 地元で生産された新鮮で安全安心な農畜産物等の販売や、地元農畜産物を活用した料理の提供を通じ、都市部と農村部の市民交流を促進し、農業の振興を図ります。 | 市民 | 経済農政局 農政センター 農業経営支援課 | 利用者数 農産物直売所 60,122人(H26 63,169人) レストラン 10,941人(H26 11,464人) 合計 71,063人(H26 74,633人) *レジ通過者数で算出 | b | 来客増に向けたPR活動を行う。 新作メニューの研究開発に取り組む |
| | | 71 | 千葉市地産地消推進業務委託 | 市民等に対し、市内産農産物に関する消費拡大啓発や料理講習会、収穫体験を実施することにより、市内産農産物を認識してもらうとともに、農業や食に対する理解を深めます。 | 市民 | 経済農政局 農政課 | 地産地消推進業務委託により、市内産農産物の展示・販売を行った。 委託事業数 9回(H26 9回) | b | 地産地消推進業務委託を行い、市内産農産物の展示・販売を行う。 委託事業予定数 6回(消費拡大効果の大きいものを精査) |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|---------------------------|------------------|----|---|--|------------------|----------------------------|---|-------------|--|
| 3 地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進 | (5) 環境にやさしい食育の推進 | 72 | エコ料理の普及啓発 | 一人ひとりが「買い物」「料理」「片づけ」において環境を考えた食生活を送れるよう、食材やエネルギーの無駄を減らす「エコ料理」の普及啓発するためにエコレシピ料理講習会を実施します。 | 市民 | 保健福祉局健康支援課 各区健康課 | 地区研修、地区伝達、各種教室において、エコ(食材やエネルギーの無駄を減らす)についての普及啓発に努めた。(H26 5会場 延参加者 141人) | b | 地区研修、地区伝達、各種教室において、エコ(食材やエネルギーの無駄を減らす)についての普及啓発に努める。 |
| | | 72 | エコ料理の普及啓発 | 一人ひとりが「買い物」「料理」「片づけ」において環境を考えた食生活を送れるよう、食材やエネルギーの無駄を減らす「エコ料理」の普及啓発するためにエコレシピ料理講習会を実施します。 | 市民 | 環境局 廃棄物対策課 | エコレシピ料理講習会開催 2回 計62人 (H26 6回 計92人) H26までは一般市民を対象に実施していましたが、若年層の内からエコレシピに触れてもらうため、H27から高校生を対象に実施しました。 | a | 高校2校で実施するとともに、家庭科の教諭を対象に実施し、講習会の内容を授業で取り上げてもらうことでエコレシピの普及促進を図ります。 |
| | | 73 | 3R教育・学習の推進 Reduce(発生抑制) Reuse(再利用) Recycle(再生利用) | 幼児用・小学生用の3R啓発教育図書を活用するとともに、ごみの分別方法や再資源化について、保育所等での未就学児への啓発や小学校での「ごみ分別スクール」において食べ物を大切にすることを伝えます。 | 幼児 小学生 保護者 | 環境局 廃棄物対策課 | 分別スクール実施 市内全小学校113校 8,250人参加 (H26 市内全小学校113校 8,600人) | b | 市内全小学校113校 8,346人を対象に実施します。 |
| | | 74 | 生ごみの減量・再資源化の推進 | 生ごみ減量処理機や肥料化容器の普及、生ごみの再資源化(メタンガス化等)の促進など、食べ残しや食品廃棄等により発生する生ごみの減量や再資源化に効果的な取り組みを推進します。 | 市民 | 環境局 廃棄物対策課 | ・生ごみ減量処理機等購入助成 補助金交付 260基:生ごみ減量処理機 97基、生ごみ肥料化容器175基 (H26 272基:生ごみ減量処理機 167基、生ごみ肥料化容器289基) ・生ごみ分別収集特別地区事業 2,760世帯 240トン (H26 2,760世帯 247トン) | b | 生ごみ減量処理機等の購入助成を行うとともに、4地区2,760世帯で生ごみ分別収集特別地区事業を実施します。 |
| | | 75 | 生ごみ資源化アドバイザーの養成・派遣 | 生ごみ資源化アドバイザーを養成・派遣して、効果的な資源化を推進します。 | 市民 | 環境局 廃棄物対策課 | 養成講座 1回、登録人数 111人、派遣回数 9回 (H26 養成講座 1回、登録人数 98人、派遣回数 22回) | b | 養成講座を1回実施するとともに、地域へアドバイザーを派遣します。 |
| | | 75 | 学校における食品ロス削減の啓発 | 【H27新規事業】 人間形成に多大な影響を与える少年期において、食品ロスの現状を認識して食べ物を大切にすることを促すとともに、児童・生徒をもつ各家庭への間接的な波及を図るため、小・中学校において食品ロス削減の普及啓発を実施します。 | 小学生 中学生 | 環境局 廃棄物対策課 | 市立小学校112校、市立中学校55校において次の事業を実施しました。 ・食べきり啓発ポスターの掲出 ・校内放送での呼びかけ ・「給食だより」への記事掲載(小学校のみ) | a | 市内小・中学校と連携し、食品ロス削減の普及啓発を実施します。 |
| | | 76 | 環境にやさしい農業の推進 | 農業の環境への負荷を軽減するため、農業や化学肥料を削減した環境にやさしい農業を推進します。 | 農業者 | 経済農政局 農政センター 農業生産振興課 | 土づくりと適正な施肥のための土壌診断1,091件実施。 環境保全型農業直接支払事業を活用し、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援。実施面積554a | b | 土づくりと適正な施肥のための土壌診断1300件実施予定。 環境保全型農業直接支払事業を活用し、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援予定。 |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本施策 | 市の取組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度実評価 | 28年度実施予定 |
|-----------------------|---------------------|----|-----------------|--|---------------|-------------|--|---------|---|
| 4 食の安全・安心に関する情報の提供 | (1) 食品の安全性に関する情報の提供 | 77 | 食に関する講座の実施 | 講座等を開催し、食に関する知識の普及啓発を図ります。 | 市民 | 市民局消費生活センター | ・消費者教育推進計画策定&高齢者被害防止共同キャンペーン記念講演会「その食・健康情報、本当に大丈夫？消費者として知っておきたい基礎知識」8月29日開催 参加者数87名 ・消費生活特別講座「震災から5年ふくしまと私たちの暮らしを考える講演会」(有機農業による地域の力と市民の力)3月2日開催 参加者数:32名 (H26 講座を2回実施 合計32名参加) | b | 講座等を開催し、食に関する知識の普及啓発を図ります。 |
| | | 78 | 食品衛生に関する講習会の実施 | 事業者や従業員向けの講習会を実施するほか、市民等からの依頼に職員を派遣し、食品衛生に関する知識の普及啓発を図ります。 | 市民 食品関係事業者 | 保健福祉局生活衛生課 | ○営業者、消費者等を対象とした衛生講習会の実施 ・営業者等対象の衛生講習会の実施 74回 3,820名(H26 99回 4,647名) ・消費者対象の衛生講習会の実施 4回 111名(H26 13回 284名) | b | 営業者、消費者等を対象とした衛生講習会の実施 |
| | | 79 | リスクコミュニケーションの推進 | 食の安全に関する講演会、食品衛生監視指導計画に関する意見交換会等を実施します。 | 市民 食品関係事業者 | 保健福祉局生活衛生課 | ①食の安全に関する講演会・意見交換会の実施 ・実施日:2月3日 ・場 所:千葉市総合保健医療センター5階大会議室 ・講演名:「食品工場の異物対策」 ・講 師 株式会社 食研 品質保証部 部長代理 佐渡山 健一郎 (さどやま けんいちろう) ・参加者:33名(H26 38名) ②平成28年度千葉市食品衛生監視指導計画(案)に係るパブリックコメント手続の実施 ・期間:1月5日~2月8日 ・意見:2人から16件(H26 1人から9件) | b | ○食の安全に関する講演会及び平成29年度千葉市食品衛生監視指導計画に関する意見交換会の実施 平成29年1月頃 ○平成29年度千葉市食品衛生監視指導計画(案)に係るパブリックコメント手続の実施 平成29年1月~2月 |
| | | 80 | ホームページ等による情報提供 | ホームページ、情報紙、パンフレットなど各種媒体を用いて食品の安全等に関する情報提供を迅速かつわかりやすく提供します。 | 市民 食品関係事業者 | 保健福祉局生活衛生課 | ①食品の放射性物質関係情報 ・食品の放射性物質検査結果 50回(H26 50回) ②食品衛生法違反者の公表 ・違反者公表(食中毒事件) 3回(H26 8回) ・違反者公表(違反食品) 1回(H26 0回) ③市内流通違反食品回収に伴う対応 1回(H26 0回) ④食品の自主回収情報 5回(H26 7回) ⑤食品衛生に係る最新情報 ・国、県からの通知に基づく注意喚起等 5回(H26 11回) ・2,4-ジニトロフェノール(DNP)含有健康食品利用への注意喚起 ・イボガイン含有健康食品利用への注意喚起 ・毒キノコによる食中毒予防 ・ノロウイルスによる食中毒予防 ・キンシバイ(巻貝)への注意喚起 ⑥監視指導関係 ・パブリックコメント手続の実施(監視指導計画の策定) ・食中毒注意報・警報の発令 ・食中毒予防パレードの実施 ・年末特別監視の実施 | b | ①食品の放射性物質関係情報 ②食品衛生法違反者の公表 ③食品の自主回収に係る情報 ④食品衛生に係る最新情報 ⑤監視指導関係 |
| | | 80 | ホームページ等による情報提供 | ホームページ、情報紙、パンフレットなど各種媒体を用いて食品の安全等に関する情報提供を迅速かつわかりやすく提供します。 | 市民 | 市民局消費生活センター | ・暮らしの情報いずみ7月号で機能性表示食品、及び食中毒に関する情報提供を実施した(1回)。(H26:1回) ※7月号:食中毒予防 食中毒に関して、発生が多い夏季に情報提供することで注意喚起を図った。H27.4.1に食品表示法が施行されたことに伴うタイムリーな情報(機能性表示食品)を掲載した。 ・食の安全(食中毒、食品の不正流通事案等)についての情報をホームページに掲載し、注意喚起を行った(4件)。(H26 3件) | b | ホームページ、情報紙、パンフレットなど各種媒体を用いて食品の安全等に関する情報提供を迅速かつわかりやすく提供します。 |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本 施策 | 市の取 り組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度 実評価 | 28年度実施予定 |
|----------|------------|----|-------------------|--|-------------------------|----------------|---|-------------|---|
| | | 81 | 食品衛生監視指導計画策定・結果公表 | 保健所等が実施する食品営業施設等の立入検査や食品、添加物等の試験検査について年間計画を策定し、その結果を公表します。 | 市民 食品関係事業者 | 保健福祉局 生活衛生課 | <ul style="list-style-type: none"> ○食品衛生監視指導計画に基づく監視指導及び検査の実施 ・監視指導件数 <ul style="list-style-type: none"> 要許可施設 9,622件(H26 11,669件) 不要許可施設 11,673件(H26 14,585件) ・検査結果 <ul style="list-style-type: none"> 検体数 823検体(H26 805検体) 検査項目数 22,709項目(H26 21,414項目) ○監視指導計画のホームページによる公表 ・監視指導計画の策定及び実施結果についてホームページにて公表 | b | <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度食品衛生監視指導計画実施結果の公表 ・平成29年度食品衛生監視指導計画策定のためのパブリックコメント手続の実施及び計画の公表 |
| | | 82 | 食品衛生に関する広報活動の実施 | 食中毒予防パレード、市政だより等により、食品衛生に関する広報活動を実施します。 | 市民 食品関係団体 食品関係事業者 | 保健福祉局 生活衛生課 | <ul style="list-style-type: none"> ○市政だよりへ、食品衛生夏期対策期間等を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・6月1日号及び8月1日号に掲載 ○広報車による広報活動(食中毒予防パレード) <ul style="list-style-type: none"> ・広報車 食中毒パレード 8月6日 (5台の広報車で市内一円を巡回) ○消費者対象の衛生講習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者対象の衛生講習会の実施 4回 111名(H26 13回 284名) | b | <ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりにより食品衛生夏期対策期間等を掲載 ・市内を広報車でまわる食中毒予防パレードの実施 ・食中毒注意報、警報の周知 |
| | | 83 | 自主的な衛生管理体制の推進 | 食品衛生推進員による巡回指導、事業者による食品の自主検査の実施など自主的衛生管理の推進を図ります。 | 市民 食品関係事業者 | 保健福祉局 生活衛生課 | <ul style="list-style-type: none"> ○食品衛生推進員による食品営業施設等の巡回指導 <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生推進員に、食品営業施設等の巡回指導を実施させ食品関係団体等における自主管理体制の促進に努めた。 延活動人数 99名(H26 113名) 延自主管理指導施設 1,699施設(H26 1,978施設) | b | ○食品衛生推進員による食品営業施設等の巡回指導 |

【調査表A】 第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表（平成27年度実績及び評価と平成28年度実施予定）

資料2

【評価基準】 a:計画以上の取組みができた b:ほぼ計画通りに取り組んだ c:計画通りに取り組めなかった d:事業廃止

| 基本施策 | 市の取組み | No | 関連事業 | 内容（計画記載内容） | 対象 | 所管 | 27年度実績 | 27年度実評価 | 28年度実施予定 |
|----------------------|-------------------------------|----|-------------------|--|--|-------------------------|--|---------|---|
| 食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立 | (3)(2)(1)食育推進関係団体との連携・協力体制の確立 | 84 | 食育のつどい | 毎年6月に関係機関・団体と連携したイベント「食育のつどい」を開催します。 | 市民 関係機関・団体等 | 保健福祉局 健康支援課 | 千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会の団体の協力を得て、食育の普及啓発を実施。 ①講演会 平成27年6月16日(火)13:30～15:30 総合保健医療センター5F大会議室 参加者 233人(H26実施なし) ②イベント 実施日:平成27年6月27日(土)10時～17時 会場:アリオ蘇我 1階 サンコート広場・屋外イベント広場 参加者数(延):6,315人(H26 6,484人) 内容:食育の普及啓発 10ステージ、展示12コーナー | a | 千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会の団体の協力を得て、食育の普及啓発を実施。 ①講演会 平成28年6月20日(月)13:30～15:30 総合保健医療センター5F大会議室 ②イベント 実施日:平成28年6月25日(土)10時～17時 会場:イオンモール幕張新都心 ファミリーモール 内容:食育の普及啓発 11ステージ、展示12コーナー |
| | | 85 | 市民健康づくり大会 | 体育の日から始まる一週間の「市民健康づくり週間」に、健康づくり運動の推進団体と連携して、栄養・食生活等をテーマに「市民健康づくり大会」を開催します。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 | きぼーるにて健康づくりに関する各種相談や指導・展示等のイベントを開催 実施日:平成27年10月17日 参加団体:24団体(H26 24団体) 入場者数:実2,300人(延7,110人)(H26 2,330人 延7,259人) | b | きぼーるにて健康づくりに関する各種相談や指導・展示を主とするイベントを開催予定 実施日:平成28年10月15日予定 参加団体:未定 |
| | | 86 | 食育総合ホームページの充実 | ホームページにおいて保育所(園)・幼稚園・学校や関係機関・団体等の取組み、食の安全、地産地消、健康づくりなど食育に関する情報を提供します。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 | 保育運営課で「おいしい!元気!ちばキッズ」、農業生産振興課で「千葉市の食と農をつなぐページ ようこそ!地産地消推進ページ」、健康支援課でも食育に関するホームページを公開している。健康支援課ホームページを見やすく変更した。 | a | 幼保運営課で「おいしい!元気!ちばキッズ」、農業生産振興課で「千葉市の食と農をつなぐページ ようこそ!地産地消推進ページ」、健康支援課でも食育に関するホームページを公開。 |
| | | 87 | 地域食生活連絡会 | 地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。 | 保育所(園)・幼稚園・学校保健福祉センターの管理栄養士等と食生活改善推進員等 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | 各区保健福祉センターにおいて、食育の取組みについての情報交換や食育教材・献立の作成等を実施した。 会場:7回 参加者:264人(H26 7回 288人) | b | 各区保健福祉センターにおいて、食育の取組みについての情報交換や食育教材・献立の作成等を実施予定。 |
| | | | 地域食生活連絡会 | 地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。 | 保育所(園)・幼稚園・学校保健福祉センターの管理栄養士等と食生活改善推進員等 | こども未来局 幼保運営課 | 保育所(園)、認定こども園、学校、保健(福祉)センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を開催。食育の取組みについての情報交換を行った。 | b | 保育所(園)、認定こども園、学校、保健(福祉)センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を開催。食育の取組みについての情報交換を行う。 |
| | | | 地域食生活連絡会 | 地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。 | 保育所(園)・幼稚園・学校保健福祉センターの管理栄養士等と食生活改善推進員等 | 教育委員会 保健体育課 | 保育所(園)、学校、保健(福祉)センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会においてそれぞれの食育の取組みについての情報交換や食育教材・献立の作成等を行った。活発な情報交換により、情報を共有する事が出来た。 | b | 地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。 |
| | | 88 | 地域健康づくり支援ネットワーク事業 | 医療機関をはじめとする関係機関や地域住民等で構成する「地域健康づくり支援連絡会」を開催し、健康づくり情報や健康課題を共有し、市民への働きかけを行います。また、バランスのよい食事のとり方や生活習慣病予防等について掲載した「健康づくり支援マップ」を作成し、普及啓発を行います。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | ・地域の関係者等による情報共有と啓発方法の検討等を行う「区地域健康づくり支援連絡会」を、6区にて2回/年、計12回開催した。 ・各区の特性を踏まえ、健康づくり情報を掲載した「健康づくり支援マップ」を作成し、区民の健康づくりの情報として発信した。 ・イベントや検診時、家庭訪問時にチラシやレシピの配布等による生活習慣病予防に関する普及啓発(H26 11回) | a | ・地域健康づくり支援連絡会を各区2回ずつ、計12回実施予定 ・健康づくり支援マップを作成配布し、区民の健康づくりに活用する予定 |
| | | 89 | 地域・職域連携推進事業 | 働き盛り層の健康づくり推進のため、市内の事業所を対象に、健康診査受診率の向上・生活習慣病の予防をはじめとした食育を含む健康づくりについて、地域と職域に関わる組織が連携し、情報発信を行います。 | 市内事業所 | 保健福祉局 健康支援課 | ・働き盛り世代の健康にかかわる各関係機関の活動及び健康課題等の共有を図るための会議を開催した。 ・健康づくりに取り組んでいる事業所の認定や、事業所で働く職員向けのパンフレットを作成し、啓発に努めた。健康づくり推進事業所数16事業所(H26 9事業所) ・中小企業等の事業所へ出向き、メンタルヘルスや運動等の講座・実践を行った。 | a | ・H28.7月に開催予定。食育推進部会、地域・職域連携推進部会、その後、8020運動推進部会を開催する予定。 ・健康づくり推進事業所に関するパンフレットを作成し、普及啓発に取り組む。 |
| | | 90 | 食生活改善推進員の養成・育成 | 食を通して地域の健康づくりのためのボランティア活動を行う食生活改善推進員の養成・育成を行います。 | 市民 | 保健福祉局 健康支援課 各区健康課 | 花見川保健福祉センターで食生活改善推進員の養成を行った。修了者人数:23人(6会場 参加者 延133人)(H26 27人) | b | 稲毛保健福祉センターで食生活改善推進員の養成を実施予定(9月～2月) |